

市議会だより

発行/小金井市議会 編集/議会報編集委員会

〒184 小金井市本町六丁目6番3号 TEL (0423) 83-1130(直通) FAX (0423) 87-1225

退職に伴う職員削減計画の断固実施を 求める決議を可決

特別職の期末手当を減額



行財政問題調査特別委員会の有志ほか提案した上記決議の採決風景

女性の教育委員を任命

9月定例会日誌

- 9月6・9日-本会議(2頁)
- 10・11・12日-一般質問(2~4頁)
- 13日-厚生文教委員会(5頁)
- 17日-建設委員会(5頁)
ごみ問題対策特別委員会(5頁)
- 18日-総務委員会(5頁)
- 19日-予算特別委員会(5頁)
- 20日-駅周辺整備・中央線立体化
問題調査特別委員会(5頁)
行財政問題調査特別委員会(5頁)
- 24日-議会運営委員会(5頁)
総務委員会(5頁)
行財政問題調査特別委員会(5頁)
- 25日-建設委員会(5頁)
議会運営委員会(5頁)
- 26日-本会議(6頁)
総務委員会(5頁)
- 27日-本会議(6頁)
議会運営委員会(5頁)
- 28日-本会議(6頁)
総務委員会(5頁)

この議会報は再生紙を利用しています。
ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。

平成8年第3回定例会市議会(清水健議長は、9月6日に開会し、会期を1日間延長して9月28日に閉会しました。

今定例会では、市長から当初、一般会計補正予算(第2回)など議案10件が送付されました。その後、教育委員会委員の任命同意1件と平成7年度各会計歳入歳出決算認定5件の計6件が追加送付され、合計16件のうち決算認定5件を継続審査としたほか、すべてを可決又は同意しました。また、開会した6日には閉会中の委員会で審査を終了した請願2件の審査報告を行い、採決の結果2件とも採択しました。さらに、固定資産評価審査委員会委員の選任については、同意しました。(7頁参照)

18日の総務委員会では特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について、市長の考え方をただしました。19日の予算特別委員会では、地域保健サービス事業の事務移管に伴う市の対応についてただしました。20日の駅周辺整備・中央線立体化問題調査特別委員会では、東小金井駅北口土地区画整理事業事業計画(素案)についてただしました。24日の議会運営委員会では市民からの陳情提出の発端となった新聞記事にある議員の発言で紛糾し、25日に当該議員に対し委員会への出席を求め、真意をただしました。(5頁参照)

26日の本会議では、市長から追加送付された教育委員会委員の任命に同意を求め、市長の考え方をただしました。平成7年度各会計歳入歳出決算認定5件は決算特別委員会を設置して閉会中に審査することとしました。(6頁参照)

27日の本会議では会派の解消・結成等に伴う議会運営委員会委員の辞任許可及び委員の選任を行い、その後、委員会付託審査案件の審査報告、討論、採決を終了し、議員提出の条例の質疑の途中で、会期を1日間延長しました。

最終日となった9月28日は、午前10時5分過ぎから本会議を開き、前日に引き続き同条例の質疑を行い、総務委員会へ付託し、また、行財政問題調査特別委員会の有志ほかから提案された「退職に伴う職員削減計画の断固実施を求める決議」(8頁参照)を可決しました。その結果、議員から提出された条例改正案、意見書・決議17件は、14件を可決、1件を否決、2件を総務委員会へ付託し継続審査として閉会しました。

情報公開条例の一刻も早い制定を

渡辺(大)議員 三多摩27市で情報公開の条例を持たない。文書倉庫の確保、整備は進んでいるが、いのは小金井市を含む6市だけであり、一刻も早い制定を図るべきである。(1)条例制定へのスケジュールは、(2)食糧費をめぐる仙台裁判判決をどう受けとめるか。(3)文書取扱規程・規則要綱等を総チェックし、記載内容の基準の明確



板倉議員 東京都は今年3月に実施見直しの行革大綱を公表したが、(1)心身障害者通身訓練等事業運営費補助金、私立幼稚園等園児保護者負担軽減事業費補助金、道路整備費補助金、保育室等運営事業補助金、保健室等運営事業補助金、心身障害者通身訓練費補助金、(2)法内施設として移管したいこと、利用者本人の所得に応じて一定の費用を負担してもらうなど、財政負担が市、利用者にかかる。職員配置が利用者7・五人対職員一人になる。市長(の)話し合いの成り行きを見守りたい。

中議員 1 駅周辺開発等本格化前に市民の意向を再調査するべきではないか。(2)小金井のまちをどういうビジョンをもってつくっていくかという議論がなされ、どこに道路をつけるか、街並をどうするか等の先行している。提案、原案づくり前に市民の街づくりの夢を聞くべきではないか。(3)東小金井北口再開発は構想の中で中金井ゾーンという位置づけだが、まちづくり推進協議会では具体的内容の論議がなされているか。

東小金井駅周辺まちづくり担当部長 (の)まちづくり計画報告書」を渡した。(1)事前に話があった。(2)出動を要請したが、(3)警察が出るほど現場でトラブルが発生したため、お引き取り下さい、と言えないか。

東小金井駅周辺まちづくり担当部長 (の)協議会委員のなかからさまざまな意見があったが、具体的なというところまでまだできていない。

文化都市として街づくりを

市長 減給条例を提案し、姿勢を示した。

0-157の対策について問う

森戸議員 0-157の対策について、軽んじてはいけませんが、過剰になりすぎていないか。市報でも書かれていないように、通常の食中毒対策で予防は可能であることが報道されている。(市)市は連絡協議会を設置したり、現場でのネットワーク作りを行わないか。(1)保健相談体制と、市報での報道を詳細に行わないか。(2)無認可保育室への対応について、補助を行っていないか。(3)影響をうけた商店への緊急融資など対策を考えないか。(4)学校給食の市関係職員を削減しないで安全な給食を子どもたちに提供すべきではないか。

市長 要望として承る。

市市民部長 (の)協議会が必要の都度、集まりたい。(1)今後の検討したい。(2)新たな件をもつて、現状の枠の中で努力したい。

福祉部長 (の)運営費の枠の中で努力していただきたい。

教育長 (の)給食業務と0-157の問題は関係ない。栄養士も調理員の人数も削減する方向でいきたい。

大丸議員 大丸ビョコックの出店の反対の請願を市議会は採択した。出店は死活問題であり緊急に対策を講じたいか。

市長 要望として承る。

施設自動受付を推進してほしい

小尾議員 大田区では午前中いっぱいかけて抽選決定するという煩雑さを改め、カード化し、電話一本で体育館、テニスコート等が使えて好評である。(市)市においてプロジェクトチームが検討しているが計画の全容が明らかになるのはいつか。

社会教育部長 (の)平成10年3月頃、(1)目標年次は平成11年度である。

学校教育部長 今後十分教育課程の中、校長等にも諮りながら方法を模索したい。

税金の使い道がまちがっていないか

井上議員 共産党市議団は、青島郡知事に小金井消防署・署長官舎用地と警察署長官舎用地を都が買収するよう市に申し入れた。ところが市長は一億円で警察署長官舎用地を買収して都に提供しようとしているが、四小角の派出所用地を活用するなど知恵を出すべきだ。

市長 四小の改築の際に支障が出るので出来ない。

市市民部長 (の)介護保険と医療の増加が問題となっている。今、公的介護保険制度創設が必要であるとの声が大である。

福祉部長 (の)来年1月に懇談会より回答をいただき、6月に条例案を提出したい。

サービス切捨ての都「行革大綱」に反対せよ

板倉議員 東京都は今年3月に実施見直しの行革大綱を公表したが、(1)心身障害者通身訓練等事業運営費補助金、私立幼稚園等園児保護者負担軽減事業費補助金、道路整備費補助金、保育室等運営事業補助金、保健室等運営事業補助金、心身障害者通身訓練費補助金、(2)法内施設として移管したいこと、利用者本人の所得に応じて一定の費用を負担してもらうなど、財政負担が市、利用者にかかる。職員配置が利用者7・五人対職員一人になる。市長(の)話し合いの成り行きを見守りたい。

市市民部長 (の)介護保険と医療の増加が問題となっている。今、公的介護保険制度創設が必要であるとの声が大である。

福祉部長 (の)来年1月に懇談会より回答をいただき、6月に条例案を提出したい。

市長 要望として承る。

市市民部長 (の)介護保険と医療の増加が問題となっている。今、公的介護保険制度創設が必要であるとの声が大である。

福祉部長 (の)来年1月に懇談会より回答をいただき、6月に条例案を提出したい。

公的介護保険について

渡辺(昭)議員 (の)高齢化の増加に伴って、介護医療の増加が問題となっている。今、公的介護保険制度創設が必要であるとの声が大である。

福祉部長 (の)事業主体への支援に保険料未納者、低所得者への軽減等国費で、自治体の役割の明確化。在宅給付と施設給付を同時に。基盤整備の充実と財源の確保。事務負担及び事務量の増大を考えると、要望を挙げている。

市市民部長 (の)介護保険と医療の増加が問題となっている。今、公的介護保険制度創設が必要であるとの声が大である。

福祉部長 (の)来年1月に懇談会より回答をいただき、6月に条例案を提出したい。

可決された意見書(要旨)

- 等が消費税の課税対象になじまないため、非課税とし、益税がないように税制度を見直すことを求める。
- 提出先 内閣総理・大蔵大臣
- 調布飛行場の安全対策、騒音対策の充実を求める意見書
- 調布、府中、三鷹市は、調布飛行場のコミュニティ空港化計画案受入れを三市の受入れ条件の受諾を前提に決定したが、当市議会は都に對し調布飛行場の拡大恒久化案の撤回を求め、意見書を提出した経緯がある。
- 今回の特別有視界方式の導入は、滑走路延長上に住む市民に對り安全性が不安視され、騒音対策の充実も求められるので、調布飛行場の都営コミュニティ空港化に際しては安全対策、騒音対策の充実を強く要請する。
- 提出先 東京都知事
- 小・中学校施設の耐震診断と補強を求める意見書
- 地震防災緊急事業5箇年計画により、学校の改築、補強が財政上の理由で実施できない場合においても、同様な国の補助でできるような法整備を行うことと都においても補助制度の整備を行うことを要請する。
- 提出先 内閣総理・大蔵・文部大臣、東京都知事
- 学校事務職員・栄養職員・教員の給与費負担などの義務教育費国庫負担制度の堅持と減額措置撤廃、削減・除外された費用の復元を求める意見書
- 政府は、教材費、旅費、恩給費、共済費追加費用を国庫負担の対象から除外し、全廃しようとして、都の義務教育費を削減し、全廃しようとして、都の義務教育費を削減するうえで不可欠な義務教育費国庫負担制度の維持と充実・発展のため、堅持と復元を求める。
- 提出先 内閣総理・大蔵・文部・自治大臣
- 消費税に関する意見書
- 消費税の改正を平成9年4月から施行するという閣議決定が行われたが、小金井市においては、財政再建が至上命令である。必要ならば経済の活性化と財政の建て直し、納得できる行政改革であり、政府に對し景気浮揚と国・地方を含めた行政改革ができるまで消費税率の引上げを見合わせるよう強く要請する。
- 提出先 内閣総理・大蔵・自治大臣
- 消費税率の引き上げ撤回を求める意見書
- 政府は、平成9年4月から消費税率を現行の3%から5%へと引き上げることが決定したが、消費税率の増税は逆進性を一層強め景気を停滞させる恐れがある。よって、政府に對し、消費税率引き上げの決定を速やかに撤回するよう強く要請する。
- 提出先 内閣総理・大蔵・自治大臣
- 農地等の相続税適正化に関する意見書
- 税制強化により、農家は負担増を余儀なくされ、相続税についても税率・税額が高いまま現在に至っており、現在の税制のもとでは、農地の減少に拍車がかかるばかりでなく良好な街づくり推進の観点からも多くの問題をはらんでいる。こうした状況から、農地等の相続税評価に当たっては、相続税納税猶予の対象を、公共性の高い農園及び平地林等については、相続税の特例措置を講ずること強く求める。
- 提出先 内閣総理・大蔵大臣

委員会の動き

(議案、請願、陳情の審議結果は7頁、継続した案件は8頁を参照してください)

厚文委 (13日)

厚生文教委員会(小尾武人委員長)は、請願1件、陳情5件を審査し、陳情2件を採択及び趣旨採択し、残る4件を継続審査とした。

に十分な補助制度を実施するよう働きかけること。義務教育費国庫負担制度の堅持と減額措置撤廃、削減・除外された費用の復元の陳情等について、教材費等の関係は、84年度以降地方交付税に算入され、8年度当初予算3億5千万円程度削減になる。

陳情で国・都に意見書を送付

小金井市立小・中学校施設の耐震診断と補強の実施を求め、陳情

①今年度予算で、国庫負担はどのくらいか。②84年度以降の推移と市の影響は、7年度関係は不交付団体で今後も決算で都総支出額2億7千万円程度削減で推移する。

建設委 (25日)

建設委員会(井上忠男委員長)は、議案1件、陳情4件を審査し、議案を原案可決、陳情3件を採択、1件を継続審査とした。

現在、消防署と連携して調査を行っている。予算確保が難しいが危険箇所には対応を考へていく。この場所には土地所有者に協力要請を設け、安全対策を講ずる。

農工大西交差点の北東角の隅切り拡大の陳情

同様な箇所が市内に数多く見受けられるが、危険箇所の点検・整備を行う考えは、進めたい。

隅切り拡大が困難な場合は、見通しのきくフェンス等の設置を要望している。

総務委 (26日)

総務委員会(大島龍男委員長)は、26日までに議案15件を審査した(結果は7頁)なお、付託されていた「消費税率5%への引き上げの撤回を求める意見書」は、26日議案が撤回された(消費税に対する意見書は3件が本会議で可決されている。3・4頁参照)また、28日は、議員の職務加算の減額等を内容とする一議

員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の一部改正、及び「財政再建のため議員及び全職員の見直しを求め、末動勉手当加算の見直しを求め」る。③米年3月までの時限立法にしたのはなぜか。

市長、助役の期末手当を減額

収入税、助役の期末手当を減額する。市長、助役の期末手当を減額する。市長、助役の期末手当を減額する。

①基本的には役職に就く加算するものだが、他市並みに35歳以上の職員につけた。②職員の財政状況をまず特別職4人が受けとめる。③政治判断で対処した。

予算委 (19日)

予算特別委員会(小尾武人委員長)は、平成8年度小金井市長一般会計補正予算(第2回)を含む補正予算4件を審査し、4件すべてを原案のとおり可決した。

ら5年間の補助金が、職員採用については、非常勤職員、臨時職員の採用等で十分体制を整え、対処したい。緑センターの公園灯の設置について、小尾市長は、公園灯の夜間利用が増えているが、公園協力金で東側道路に沿って公園の公園灯を整備できないか。



予算特別委員会 小尾武人委員長

平成8年度一般会計補正予算(第2回)

地域サービス事業の事務移管について、保健サービス事業が平成9年4月から市に移管されるが、①部から人件費や施設補助はないか。②小金井市では1月から非常勤職員を採用し対応する予定だが、市民サービスは低下しないか。

保健サービス事業事務移管で質疑

市税納付の郵便局の利用について、市税納付について、市税納付サービス向上や徴収率を上げるためにも、郵便局の窓口取納や自動口座振替を実施する必要があるか。市民サービスは低下しないか。

駅中委 (20日)

駅周辺整備、中央線立体化問題調査特別委員会(稲葉孝彦委員長)は、調査1件を審査し、継続調査とした。

武蔵小金井駅南口再開の状況について、第1プロットのみならず、中央線立体化事業との関係で、一定のところで、説明を受ける。地区界測量の経過、施行現況を定める時期、都の支援策、減歩緩和も、市との特色等を取り入れては、など質疑が行われた。

東小金井駅北口土地画整理事業の事業計画書(素案)を提示

調査 JR中央本線連続立体交差事業について、計画を進めていくのか。

仮線が平成10年に入ること、都は平成15年度完成で進めている。

行財政特委 (20日)

行財政問題調査特別委員会(黒川輝秀委員長)は、調査1件、陳情2件を審査し、いずれも継続審査とした。

①減員計画について、使役確認する。また、協議が整わなかった職員の対応、欠員の扱い、任用換え等について、予算編成の関係も、11月中に整理する考えあり、11月中に整理する考えあり、11月中に整理する考えあり。

行財政再建の調査を継続

①今後の対応はどうか。②行財政改革推進のための市民会議の設置はどうするのか。③職員定数条例の改正はいつか。

管することになった。質疑の後、この陳情書は8月24日付の新聞報道によるものと思われることから、その新聞の取材に対してコメントをしている渡辺大員として出席を求め、政治的圧力及び、証隠滅の防止のため、政治的圧力がかかる。②今までの調査研究費の経理責任、議員との一問一答の文書との関係について発言を求めた。

議運委 (25日)

議会運営委員会(村野静司委員長)は、陳情2件を審査し、それぞれ継続審査とした。

①証隠滅の防止のため、政治的圧力がかかる。②今までの調査研究費の経理責任、議員との一問一答の文書との関係について発言を求めた。

資源回収について

①シルバー人材センターに委託している空缶の処理について、作業が完了しない。②資源物の回収に係る委託業務の契約金

額が6月に議決した補正予算額の4分の1であるが最低制限価格を導入しないか。

ごみ特委 (17日)

ごみ問題対策特別委員会(五十嵐京子委員長)は、調査1件、議案1件を審査し、調査を継続調査、議案を原案のとおり可決した。

①作業は軽作業であるが、分別が徹底されておらず高齢者には大変であるので、一定の対応を考へたい。

調査

①シルバー人材センターに委託している空缶の処理について、作業が完了しない。②資源物の回収に係る委託業務の契約金

資源回収について

①シルバー人材センターに委託している空缶の処理について、作業が完了しない。②資源物の回収に係る委託業務の契約金

①シルバー人材センターに委託している空缶の処理について、作業が完了しない。②資源物の回収に係る委託業務の契約金

議案・請願・陳情の審議結果			各会派の態度 ○賛成 ×反対 △出席 会派名下の()は所属議員数										
			自 民 党 ・ 市 民 (5)	日 本 共 産 党 (5)	公 明 (4)	新 政 策 フ ォ ー ム (3)	社 民 党 (2)	大 衆 党 (1)	生 活 者 ネ ット (1)	市 民 権 (1)	行 革 進 (1)	環 境 ク ラ ブ (1)	議 決 結 果
議案・請願・陳情名	付託 委員会	説 明											
固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて	即決	平成8年9月12日付で任期満了となる上野修氏を再任するもの。	○	△	○	○	○	△	○	○	○	△	同 意
食料品の消費税非課税を求める請願書	総	食料品を消費税非課税とすることを求めるもの。	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	採 択
消費税の非課税品目(食料品・医療関係費等)を増やすように求める請願書	総	消費税の非課税品目を増やすように求めるもの。	○	○	○	○ ¹ △ ²	○	○	○	○	○	○	採 択

議案・請願・陳情の審議結果			各会派の態度 ○賛成 ×反対 △出席 会派名下の()は所属議員数											
			自 民 党 ・ 市 民 (5)	日 本 共 産 党 (5)	公 明 (4)	社 民 党 (2)	情 報 公 開 ・ 環 境 (2)	大 衆 党 (1)	生 活 者 ネ ット (1)	市 民 権 (1)	行 革 進 (1)	民 社 (1)	市 民 フ ォ ー ム (1)	議 決 結 果
議案・請願・陳情名	付託 委員会	説 明												
平成8年度東京都小金井市一般会計補正予算(第2回)	予	歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億8,492万4,000円を追加し、予算総額を312億7,789万8,000円とするもの。	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	☆ 原案可決	
小金井市都市計画審議会条例の一部改正について	建	所掌事項の明確化、及び委員構成の改正等を行うもの。	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	☆ 原案可決	
教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	即決	平成8年10月11日付で任期満了となる中村幸之助氏の後任に梶尾高根氏を任命するもの。	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意	
農地等の固定資産税等適正化に関する請願書	総	地価下落に連動した農地等の固定資産税及び相続税の税負担の軽減を求めるもの。	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	採 択	
政府に対する「中小建設業者の振興基準・対策の確立」の意見書等を求める請願書	総	住宅改修事業を推進し、地元中小建設業者の起用と振興を求めるもの。	×	○	×	△	○	○	×	△	△	×	△	不採択
消費税の廃止を求める請願書	総	消費税の廃止を求めるもの。	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択
調布飛行場の不定期航空路線に特別有視界飛行方式を導入することに強く反対し、その趣旨の意見書を東京都に提出することを求める陳情書	総	特別有視界飛行方式を導入することに反対する意見書を東京都に提出することを求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
小金井市立小・中学校施設の耐震診断と補強の実施を求める陳情書	厚	新しい耐震構造基準に基づき、市内小・中学校施設の耐震診断と補強の実施を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
平成8年度東京都小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	予	歳入歳出予算の総額に、それぞれ4,540万2,000円を追加し、予算総額を51億4,541万8,000円とするもの。	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆ 原案可決
平成8年度東京都小金井市受託水道事業特別会計補正予算(第1回)	予	歳入歳出予算の総額から、それぞれ1,653万4,000円を減額し、予算総額を21億959万9,000円とするもの。	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆ 原案可決
平成8年度東京都小金井市老人保健医療特別会計補正予算(第1回)	予	歳入歳出予算の総額に、それぞれ995万1,000円を追加し、予算総額を61億7,590万6,000円とするもの。	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆ 原案可決
特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	総	厳しい財政状況を踏まえ、市長、助役、収入役、教育長の姿勢を明確にするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
小金井市市有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	総	寄附を受けた財産に係る規定の整備のため、改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
小金井市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部改正について	ごみ特	廃棄物減量等推進審議会が廃棄物の減量等に関する事項について審議し、意見を述べることができるようにするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
損害賠償の額を定め、和解することについて	総	平成6年12月1日に発生した自動車事故による損害賠償の額を定め、和解するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
学校事務職員・栄養職員・教員の給与費半額負担などの義務教育費国庫負担制度の堅持と減額措置撤廃、削減・除外された費用の復元を求める陳情書	厚	学校事務・栄養職員・教員の給与費の国庫負担制度の堅持と、除外された教材費・旅費・恩給費と削減された共済追加費の国の費用負担の復元を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
交通安全上、農工大西交差点の北東角の隅切り拡大を求める陳情書	建	農工大西交差点の北東角の隅切りを拡大し、安全性の確保を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
桜町一丁目小金井橋交差点に歩行者用信号機の設置を求める陳情書	建	桜町一丁目小金井橋交差点に歩行者用の信号機の設置を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
通称「東大通り」の拡幅に伴い、通学路に当たる交差点に信号機の設置など安全対策を講ずるよう求める陳情書	建	都道247号線の交通量等の増大に伴い、社会医学技術学院の東南角の交差点に信号機の設置を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
小金井市東部地域に住民票や印鑑証明用の自動交付機の設置を求める陳情書	総	小金井市東部地域に住民票や印鑑証明用の自動交付機の設置を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
(仮称)貫井北センター建設に関する陳情書	総	貫井北町一丁目の元国鉄宿舍跡地にコミュニティーセンターの建設を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意

※表中「付託委員会」「議決結果」欄の文字は次の名称の省略です。
即決：委員会付託を省略し、本会議で採決したもの
総：総務委員会
建：建設委員会
厚：厚生文教委員会
予：予算特別委員会
ごみ特：ごみ問題対策特別委員会
可決：市長から提出された議案に対して賛成されたもの
採択：可決と同趣旨で請願や陳情に対するもの(不採択は逆)
趣旨採択：願意は妥当であるが、実現性の面で確信がもてないもの
同意：市長から提出された議案に対して同意されたもの
 ※「議決結果」欄の☆印は、討論が行われたものを示す。

可決・採択(全員賛成)

請願・陳情の執行・処理結果

議会が採択した請願・陳情を市長等が願意にそって執行・処理した旨の報告がありましたので、その内容を掲載します。

▼7陳情第42号
栗山公園往復バスの運行改善を求める陳情書
現行のマイクroバスは、ピノキオ幼児園の送迎用バスと併用のため、運行時間の関係でこれ以上の増発は困難であり、また、専用バスの購入や借上げも財政上難しい状況にある。

平成8年4月より、毎月第一金曜日のみ13時に迎え、13時30分送りの運行を試行し、午前1回、午後1回の利用ができるようにしている。しかし、その旨関係自治会等にお知らせしたが、利用者が依然として少ない現状である。

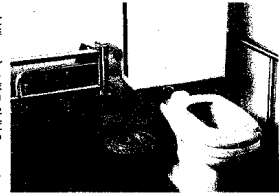
▼8陳情第12号
栗山公園健康運動センターの夏季使用に関する陳情書
平成8年3月に栗山公園健康運動センターで利用者懇談会を開催し、夏季期間の利用について話し合いを行った。

平成8年度の夏季団体利用中止を8月1日から8月31日までとし、7月20日から31日までは、午前9時から11時までの区分別原則1コースを貸し出した。試行を行った。平成8年度夏季利用状況及び7月20日からの団体貸し出しにより影響等を参考に、平成9年度夏季団体貸し出しの中止期間については、今後検討する。

▼8陳情第7号
緑中学校にエレベーターを設置することに關する陳情書
市立小・中学校で車椅子で就学する児童生徒に対し、トイレ、スロープ等の改善を図り学習環境を整えてきた。また、2・3階への移動の対応には、原則的に保護者に協力を求めながら学校内で対応してきた。本件に関するは、1階の教室における学習を保障することにも、2階以上への移動には、特に介助員を配置することとした。エレベーターの設置については、困難な状況にあり、保護者と十分

あなたの声(請願・陳情)が 市政をよくした

平成8年9月26日の議会運営委員会で郵送された陳情の取り扱いは、平成8年第3回定例会閉会後に受理した陳情から平成9年第1回定例会まで次のように試行することと決定しましたので、お知らせします。市議会に郵送で陳情書を送られた場合には原則として、その写しを議員全員に参考として配布し、委員会の審査は行いません。



改善された緑中学校のトイレ

可決された決議(要旨)

退職に伴う職員削減計画の断固実施を求める決議
市長は職員20人削減を公約して選出し、職員削減計画をもって業務見直しと定数削減に取り組んできた結果、団員の合意は見えたが、その所期の目標には遠く現状である。この間小金井市議会は、行財政問題調査特別委員会を設置し取り組んできたが市長が公約を果たさず、職員の定数削減策を今年度末までには実施することを求めるものである。

賛成：自由民主党・市民、公明、社民、情報公開・環境、市民権、生活者ネット、民社、市民フォーラム、行革進
反対：日本共産党、大衆党

度重なる議会ルールの無視、いたずらに混乱を招く言動を繰り返す渡辺大三議員に猛省を求める決議
議会運営をスムーズにするためのルールは必要であるが渡辺大三議員はこうしたルールを何度も破り、議会の空気を大きく混乱させた。このことは、市民の不信感を増幅させるだけである。今定例会での深夜に及ぶ議案の原因は、市政調査研究費をめぐり渡辺大三議員が事実を曲げてマスコミに発言したことにより、市民に多大な誤解と議会に対する不信感を抱かせたことにある。

このような問題を再び引き起こすことのないよう、渡辺大三議員に猛省を求める(賛立採決結果)
賛成：自由民主党・市民、公明、社民、市民権、生活者ネット、民社、反対：情報公開・環境、大衆党、市民フォーラム、行革進、退席：日本共産党

閉会中の委員会日程と引き続き審査する案件

総務委員会 10月31日(木)

- ▶小金井市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- ▶財政再建のため議員及び全職員の期末勤続手当加算の見直しを求める決議
- ▶中央線高架化に伴う東小金井駅改修、高架下の利用及び市役所窓口開設に関する請願書
- ▶小金井市役所北町分室移転促進に関し、具体的な見直し及び敷地の見直しを要求する事に関する陳情書
- ▶消費税率の引上げと地方消費税創設に反対する陳情書
- ▶東京都の区市町村に対する各種補助金の一方的削減に反対する陳情書
- ▶新小金井街道経由の武蔵小金井駅一府中駅バスの運行を求める陳情書
- ▶市内循環のミニバス運行を求める陳情書
- ▶固定資産税の負担軽減と合理化に関する陳情書
- ▶不動産登記に係る登記免許制の技術的見直し等に関する陳情書
- ▶除籍簿、消滅された戸籍の附帯等の保存期間の延長に関する陳情書

決算特別委員会 11月5・6・7日(火・水・木)

- ▶平成7年度東京都小金井市一般会計歳入歳出決算の認定について
- ▶平成7年度東京都小金井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ▶平成7年度東京都小金井市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ▶平成7年度東京都小金井市受託水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ▶平成7年度東京都小金井市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について

厚生文教委員会 11月11日(月)

- ▶小金井保健所の存続を働きかけていただく請願書
- ▶難病者福祉の向上をめざす請願書
- ▶知的障害者のための法内施設設置を求める請願書
- ▶「小金井市体罰根絶宣言」の制定を求める請願書
- ▶国民の願いにこたえる医療保険制度を求める請願書
- ▶都立小金井保健所の存続を求める陳情書
- ▶国民の権利としての公的介護保険拡充を求める陳情書
- ▶国民の願いに応える公的介護保障の確立を国に要望することを求める陳情書

- ▶教育現場における体罰禁止の徹底を求める陳情書
- ▶住民本位の公衆衛生行政拡充を求める陳情書
- ▶第一小学校の西側校舎の建て替え時に、子どもと高齢者とのふれあいの場、デイケア・センターの設置を求める陳情書
- ▶乳幼児医療費無料制度の所得制限撤廃を求める陳情書
- ▶無認可保育所の保護者助成金の引上げを求める陳情書

ごみ問題対策特別委員会 11月13日(水)

- ▶ごみ減量対策及び終末処理に係る諸問題の調査

議会運営委員会 11月13日(水)

- ▶市政調査研究費の領収証の写しを議会事務局において厳正に保存していただくことを強く求める陳情書
- ▶情報公開時代に積極的に対応し、市議会のCATV放送・モニター放送を進めていただくことを求める陳情書

建設委員会 11月18日(月)

- ▶都住宅供給公社小金井貫井団地西側住民の交通利便を確保するための陳情書
- ▶駐輪場使用料の「学生割引制度」導入に関する陳情書
- ▶長川上水に災害時の避難路となる人道橋の設置を求める陳情書
- ▶前原町三丁目子どもたちの遊べる公園の設置を求める陳情書

駅周辺整備・中央線立体化問題調査特別委員会 11月19日(火)

- ▶中央線連続立体交差化、南北交通難解消及び駅周辺開発に係る諸問題の調査
- ▶東小金井駅南口商店街の活性化のための施策を求める陳情書

議会運営委員会 11月22日(金)

- ①次期定例会(臨時会を含む)の会期及び会議日程等、議会運営に関する調査
- ②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査
- ③議会運営に関する議長の諮問事項について

行財政問題調査特別委員会

- 閉会中の日程はありません。
- ▶行財政再建に関する諸問題に係る調査
- ▶職員削減計画の見直しがあつたついで欠員の不補充を貫くことを求める陳情書
- ▶地方自治擁護・行政改革に関する陳情書

市議会からのお知らせ

平成8年9月26日の議会運営委員会で郵送された陳情の取り扱いは、平成8年第3回定例会閉会後に受理した陳情から平成9年第1回定例会まで次のように試行することと決定しましたので、お知らせします。市議会に郵送で陳情書を送られた場合には原則として、その写しを議員全員に参考として配布し、委員会の審査は行いません。

請願と同様に委員会審査を希望される場合には、議会事務局に市議会所定の様式で持参いただき再度提出することが必要です。

(※郵送で送られてきた場合には、事務局でその旨照会いたします。心身等の障害のため直接陳情書の提出が難しい場合、請願と同様の扱いとなります。)

(詳細は議会事務局までお尋ねください。)

会派解消・結成について

平成8年9月26日付で、新政策フォーラム(小川議員、渡辺大三)議員、田中議員と湧く湧く環境クラブ(若竹委員、鈴木洋子委員、田中忠子委員)が会派を解消し、同日次の会派(届出順)が結成されました。

会派名	議員名	所属議員
新政策フォーラム	小川和彦、渡辺大三	若竹綾子、鈴木洋子、田中忠子
湧く湧く環境クラブ	若竹綾子、鈴木洋子、田中忠子	若竹綾子、鈴木洋子、田中忠子

議会運営委員会委員

○会派の解消・結成により、議会運営委員会委員を林茂大議員、鈴木洋子委員、田中忠子委員が辞任し、若竹綾子委員、和田茂雄委員、小川和彦委員が選任されました。副委員長には、和田茂雄委員が選任されました。

○渡辺大三委員が9月27日付で議会報編集委員を辞任したため、新たに小川和彦委員が委嘱されました。

次の市議会定例会は
11月27日から開催予定です。

編集後記

小金井市の行財政改革についての議論が沸騰した九月定例会の議案が、その最中に運きた感の解放感。若き若きを、まなまの心を誠実に実行してこそ、それらに価値を生れることを忘れず(鈴木和子)

小金井市議会(若竹記)